

## 下水道事業会計

### 〈成果と課題〉

現在の木祖村公共下水道事業につきましては、供用開始から 23 年が経過し現在施設の維持管理を中心とした運営状況となっている。マンホールポンプや施設等の長寿命化や施設の効率的な稼働など、コストを削減し経営改善に努める必要がある。施設整備については令和 4 年度で社会資本整備総合交付金を活用したストックマネジメント計画が終了し、今年度は維持管理業務が中心となった。

木祖村農業集落排水事業につきましては、整備面は完了しており主に施設の維持管理を中心とした運営状況が続いている。菅浄化センター供用開始から 21 年、大平浄化センター供用開始から 23 年が経過し、浄化槽の老朽化も進んでおり、修繕費等の増加が懸念される。

また、令和 2 年度から公営企業会計が開始され予算作成、決算等の会計支援委託を実施した。このことにより、今後課題となる人口減少に伴う処理水量の減少、老朽化施設の更新需要等の動向が的確に把握することが可能になるため、より綿密な施設更新・料金管理を実施していく。

令和 2 年度より地方公営企業会計基準に則った会計制度への移行を行なった。

### (1) 収支の状況

#### ① 収益的収支の状況 (3 条決算)

#### 収益的収入

(税込み/単位:円、%)

科 目	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比	
			増減	比率
営業収益	45,474,705	45,580,283	105,578	100.2%
下水道使用料	45,464,705	45,570,283	105,578	100.2%
その他営業収益	10,000	10,000	0	100.0%
営業外収益	143,195,738	125,973,692	△17,222,046	88.0%
他会計補助金	93,280,000	76,589,000	△16,691,000	82.1%
長期前受金戻入	49,915,738	49,384,692	△531,046	98.9%
下水道事業収益合計	188,670,443	171,553,975	△17,116,468	90.9%

#### 収益的支出

(税込み/単位:円、%)

科 目	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比	
			増減	比率
営業費用	158,686,908	148,430,383	△10,256,525	93.5%
事業費	38,342,048	37,612,580	△729,468	98.1%
広域連合負担金	8,685,000	0	△8,685,000	0.0%
総係費	9,358,030	9,422,993	64,963	100.7%
減価償却費	102,301,830	101,394,810	△907,020	99.1%
営業外費用	20,101,898	17,754,612	△2,347,286	88.3%
企業債利息	18,862,598	16,512,312	△2,350,286	87.5%
雑支出	(特定収入仮払 消費税他) 1,239,300	(特定収入仮払 消費税他) 1,242,300	3,000	100.2%
特別損失	215,699	0	△215,699	0.0%
過年度損益修正損	215,699	0	△215,699	0.0%
下水道事業費用合計	179,004,505	166,184,995	△12,819,510	92.8%

○収益的収支について

本年度の下水道事業収益は 171,553,975 円(前年度比 90.9%)で、内訳として下水道使用料 45,570,283 円、その他営業収益 10,000 円、一般会計補助金 76,589,000 円、長期前受金戻入 49,384,692 円であり、下水道事業費用は 166,184,995 円(前年度比 92.8%)で、内訳として事業費 37,612,580 円、総係費 9,422,993 円、減価償却費 101,394,810 円、支払利息 16,512,312 円、雑支出 1,242,300 円となった。

② 資本的収支の状況 (4 条決算)

資本的収入

(税込み/単位：円、%)

	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比	
			増減	比率
企業債	10,500,000	0	△10,500,000	0.0%
他会計補助金	79,587,000	79,370,000	△217,000	99.7%
国庫補助金	4,169,000	0	△4,169,000	0.0%
負担金等	1,286,000	1,195,000	△91,000	92.9%
資本的収入	95,542,000	80,565,000	△14,977,000	84.3%

資本的支出

(税込み/単位：円、%)

	令和 4 年度	令和 5 年度	前年度比	
			増減	比率
建設改良費	17,547,607	479,600	△1,768,007	2.6%
固定資産購入費	63,800	114,400	50,600	179.3%
企業債償還金	133,475,242	134,737,597	1,262,355	100.9%
資本的支出	151,086,649	135,331,597	△15,755,052	89.6%

○資本的収支について

本年度の資本的収入は 80,565,000 円(前年度比 84.3%)で、内訳として一般会計補助金 79,370,000 円、負担金等 1,195,000 円となった。これに対し資本的支出額は 135,331,597 円(前年度比 89.6%)で、内訳として建設改良費 479,600 円、固定資産購入費 114,400 円、企業債償還金 134,737,597 円となった。

本年度の建設改良工事は、公共樹設置工事を 1 件施工した。

(2) 事業の実績

①下水道の状況及び実績

区 分	公共下水道事業	農業集落排水事業 (菅・大平)	浄化槽整備区域 (個別・特排)	合計
処理区域内人口 (人)	1,707	282	562	2,551
処理区域内水洗化人口(人)	1,570	252	497	2,319
水洗化率(%)	92.0%	89.4%	88.4%	90.9%
一日平均処理水量 (m3)	492	88	124	704
一日最大処理水量 (m3)	757	185	-	942
年間処理水量 (m3)	180,132	32,071	45,129	257,332
年間搬出汚泥量 (m3)	1,460	90	441	1,991
年間有収水量 (m3)	162,969	26,523	45,129	234,621
有収率(%)	90.5%	82.7%	100.0%	91.2%

- ・汚水処理原価 (下水道 1 m<sup>3</sup>当たりの処理単価)  
 = 汚水処理費(下水道事業費用-長期前受金戻入) ÷ 有収水量  
 = 497.83 円 (前年度 548.90 円)
- ・使用料単価 (下水道 1 m<sup>3</sup>当たりの販売単価)  
 = 使用料収入(税抜) ÷ 有収水量 = 194.23 円 (前年度 175.76 円)
- ・資本費  
 = (地方債償還金 + 支払利息) ÷ 有収水量 = 644.66 円 (前年度 647.80 円)

②使用料関係

- ・下水道使用料

基本料金
1,870 円

超過料金 (1 m <sup>3</sup> につき)	
11m <sup>3</sup> ~20m <sup>3</sup>	143 円
21m <sup>3</sup> ~40m <sup>3</sup>	165 円
41m <sup>3</sup> ~60m <sup>3</sup>	187 円
61m <sup>3</sup> ~	209 円

- ・徴収状況

(税込み/単位:円)

使用料区分		調定額	収納額	未収額	収納率
現 年 分	令和5年度	45,570,283	41,353,609	4,216,674	90.7%
	令和4年度	45,474,705	41,368,328	4,132,821	91.0%
	令和3年度	47,283,621	42,827,699	4,455,922	90.6%

### ③施設維持管理

#### ・主な委託業務等

公営企業会計業務委託 1,045,000 円  
事業会計システム使用・保守点検業務委託 396,000 円  
固定資産台帳更新業務委託 741,400 円

#### ・主な維持修繕工事等

マンホールポンプオイル交換業務 209,000 円  
農業集落排水施設マンホールポンプ場水位計修繕工事(3ヶ所) 803,000 円  
嫌気ろ床槽 1室濾材受け補修工事 206,800 円

#### ・建設改良事業

公共マス設置工事 1箇所 479,600 円

### (4) 地方債の状況

#### 地方債の償還額及び未償還元金残高

令和4年度末		令和5年度中増減		令和5年度末	
件数	未償還元金	借入額	元金償還額	件数	未償還元金
71	1,004,547,209	0	134,737,597	71	869,809,612